

総会挨拶

会長 出口 博

本日はお忙しいなか、「とねワイワイくらぶ」の総会にご出席いただき、ありがとうございます。



利根町町長の 佐々木喜章様、教育長の 杉山英彦様、生涯学習課長の久保田政美様にありがとうございます。

私は、会長に選出され4年になり、クラブの運営に携わってまいりましたが、各役員始めスタッフ、会員の皆様には、格別のご支援、ご協力を受け賜り、おかげをもちまして、会長としての職責を何とか果たせたのではないかと深く感謝しています。

「とねワイワイくらぶ」は創設14年を迎えました。会員数は、近年110名前後と横ばいが続いていますが、30年度の延べ活動回数は519回、参加人数は、6734人と多くの方が参加されています。前年度から、開催回数・参加人数も少し減少していますが、昨年は猛暑が続く「熱中症予防の為」テニス、グラウンド・ゴルフの開催中止が多くありました。(次項参照)

熱中症対策

「熱中症指標計」を購入し、日本スポーツ協会からの「熱中症予防のための運動指針」に準じての活動をお願いしたところ、テニスではいろいろ議論の上、夏場に半分くらい中止になりました。

いろいろと話し合うのが大切であるし、話し合いにより熱中症の理解も増えた様です。結果として熱中症などで事故が無く、良かったと思っています。



バスハイキングの復活

もう一つ良かったことは、2年ぶりにバスハイキングが復活したことです。

本田記念財団から助成金が受けられるようになり、バスの借入コストもクリアになり、11月15日(木)に38名が参加し、少し遠く、強行なところがありましたが、天候にも恵まれ昇仙峡ロープウェイの山頂から見る「浮富士」と昇仙峡の紅葉を堪能した良いハイキングであったと思っています。



広報「とね」のリニューアル

また、皆様もお気づきと思いますが、広報「とね」が4月号からリニューアルされ、それに合わせて「とねワイワイくらぶ」の記事内容も変更されました。いままでは、活動計画表だけの掲載でしたが、今後は活動内容のピーアールをメインにして、多くの方に「ワイワイくらぶ」を知ってもらうことを重点に掲載していきます。活動場所に、町のシティブロモーションから、写真撮影・インタビューに来ると思っていますので協力をお願いします。

「とねワイワイくらぶ」の長所

「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも、スポーツを楽しめる町」を理念として活動しています。

- ① 定例の活動は無料。
- ② どの種目・事業に参加してもスポーツ保険の対象になる。
- ③ 各種イベント、大会には割引料金で参加できる。

等ですが一番のメリットは、多くの種目が準備され、どれにも参加できることで、複数の種目に参加している方は20人位です。

多くの方が複数の種目に参加できるようにするためには、どうすればよいか。多くの方が参加できるような種目は他にないのか。多くの制約があります。皆様からの多くの意見を待ちしています。

いろんな種目に参加しよう!



「第2期スポーツ基本計画」

スポーツ庁から出されている「第2期スポーツ基本計画」で掲げた成人の週一回のスポーツ実施率を65%とする目標に向け、昨年9月に「スポーツ実施率向上のための行動計画」が策定されました。

この中では、「総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」とします)も施策の推進するよう求められています。

その一部を紹介しますと、

- ① 「総合型クラブ」に地域住民がより参画しやすい環境を整備する
- ② 「総合型クラブ」が地方自治体と連携して地域住民のスポーツ・レクリエーション種目も含めた当該ニーズに対応する取組を行う。とあります。

また、日本スポーツ協会から「今後の地域スポーツ体制の在り方について」「ジュニアスポーツを中心として」と提言されています。

基本的には、中学校の部活を「スポーツ少年団」と「総合型クラブ」で見ているという計画です。2、3年後には、利根町・スポーツ少年団・「総合型クラブ」の連携がますます重要になってきます。本件については、詳細が判明次第報告します。

最後に、当くらぶが30年度に行ってきたこと、31年度計画などは、配布した議案書にまとめてあります。内容を確認の上多くのご意見、提案などお願いします。

会員皆様の今後ますますのご健勝とご活躍・ご発展を祈念しまして、総会の開催に当たつてのご挨拶とします。



平成31年04月20日現在	
男性 42名	小学生0名
女性 60名 (内)	中学生3名
合計 102名	

発行日	平成31年4月20日
発行	とねワイワイくらぶ
住所	利根町下曾根321
電話	090-1407-4480
FAX	0297-68-3812
責任者	会長 出口博
編集	広報担当